

第 44 回「鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会」 議事概要

日 時 令和 5 年 5 月 12 日（金） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 15 分

場 所 区立隅田小学校 視聴覚室

（5）質疑応答

質問 : 踏切の安全対策として、踏切自体は拡がるのか。予定している工事では歩行者のたまり空間を設けるようだが、踏切が空いたタイミングで一斉に踏切に人が入るため危険だと思う。

回答（東京都） : 踏切の幅は変更しないが、鐘ヶ淵駅側は、歩行空間を 60cm 程度広げるため歩きやすくなる。

質問 : 東武鉄道は踏切を拡げられないのか。

回答（東京都） : 道路であるため拡幅するには計画変更を伴うことから、すぐに回答することができない。

質問 : 期区間の整備はいつ完了するのか。

回答（東京都） : 令和 5 年度までの事業認可期間で工事を実施しており、その後の予定はたっていない。

あくまでも目安だが、これまで進めてきた工事の実績から考えると、期区間は設計と工事でまだ相当期間かかるとみられる。

質問 : 駅前の踏切から墨堤通りまでの区間の用地取得には、どの程度の期間がかかる見通しか。また、事業に係る情報は懇談会の場だけでなく、定期的に地元を提供してほしい。

回答（東京都） : 期区間においては、用地取得について権利者と調整中である。現時点では目途はたっていないが、用地が取得できている箇所については、下水道管を敷設するなど、進められるところから、工事を進めるよう努力している。

質問 : 踏切の拡幅については、都区のどちらが東武鉄道と協議するか、役割分担は明確になっているのか。

回答（墨田区） : 補助第 120 号線は都事業であることから、都が行うものと認識している。

質問 : 踏切東側の旧セブンイレブン前の道路は、隅田小学校側へ流入する自動車台数が多い。

現道は鐘ヶ淵通りと斜めに接続しており速度を落とさず入ってくる自動車もある。そこに歩行者空間を確保した場合、道路入口付近に滞留する歩行者が増え、危険度が増すのではないかと懸念されている。

回答（東京都）：安全対策実施後、車両は踏切付近で直角に曲がっていくこととなり、減速する必要があるため、安全性は確保できると考えている。

質問：補助第 120 号線拡幅後は、幅員 5m の歩道が整備される。補助第 120 号線を南進する車両はこの道路へ左折すること自体難しくなるのではないか。

回答（東京都）：交通管理者と協議し、道路の形は決めていきたいと思う。

質問：踏切から墨田 2 丁目側（ベルクス側）へ入る車道がなくなるため、交番前の車道を拡げることはできないのか。

回答（墨田区）：ご意見を踏まえ交通ネットワーク構想の中で検討する。

以上